

事業化チャレンジ道場で新規事業立ち上げに挑戦した企業

株式会社ムーテック35

業種 精密板金・機械加工



開発製品 ステンレスを用いたアクセサリ「THE BLOSSO」

自社の技術力を活かし、異なる業種へチャレンジ

リーマン・ショックの影響により、既存顧客や受注数が激減。ちょうど、その時期に従業員が遊びで作った金属製のオブジェを見て、「これは事業にできる」と確信し、ものづくりの地力を身につけるため道場に参加することを決意した。強みである加工技術の高さを活かし、ステンレスでありながら宝石のような輝きを持つアクセサリ「THE BLOSSO」を開発した。

道場で得られたこと

道場に参加し、ものづくりのノウハウを学びながら改めて自社の強みを再認識することができた。さらに「THE BLOSSO」をきっかけに新製品を開発する新事業部を立ち上げ、社内に継続して製品開発を行える体制をつくることができた。

昭和機器計装株式会社

業種 工業用流量計・液面計の製造・販売



開発製品 小型流量計「ミニフラプターシリーズ」

工業用流量計メーカーが15年ぶりの新製品にチャレンジ

大口取引先からの発注が途絶え業績立て直しに迫られていた中、道場のチラシを見つけ、約15年ぶりの新製品開発に挑んだ。コンパクトで自由に配置できる小型流量計「ミニフラプターシリーズ」を開発。途中コロナ禍で生産拠点のベトナムとの往来ができない等の困難もあったが、企画から約8年をかけた製品化した。

道場で得られたこと

競争力のある製品づくりが、顧客ニーズを引き出す突破口になると知った。新製品開発という共通の目標に向かって、営業、技術、生産などの部門連携が進み、レベルアップが図れた。

国際ディスプレイ工業株式会社

業種 ムービングディスプレイ・メカデザイン設計製造販売



開発製品 SOLAR ORNITHOPTER(ソーラーオーニソプター)

10年以上かけて自社ブランド製品をシリーズ化

動く店頭POPディスプレイやソーラー招き猫の開発を行ってきたが、次なる成長の軸として自社ブランド品開発を目指し道場に参加。当初からコンセプトを「『動き』をキーワードに人の心を豊かにするオーナメント」と定め、現在までに3つの商品をリリース、これら新規部門の売り上げを全体の2割まで拡大させた。

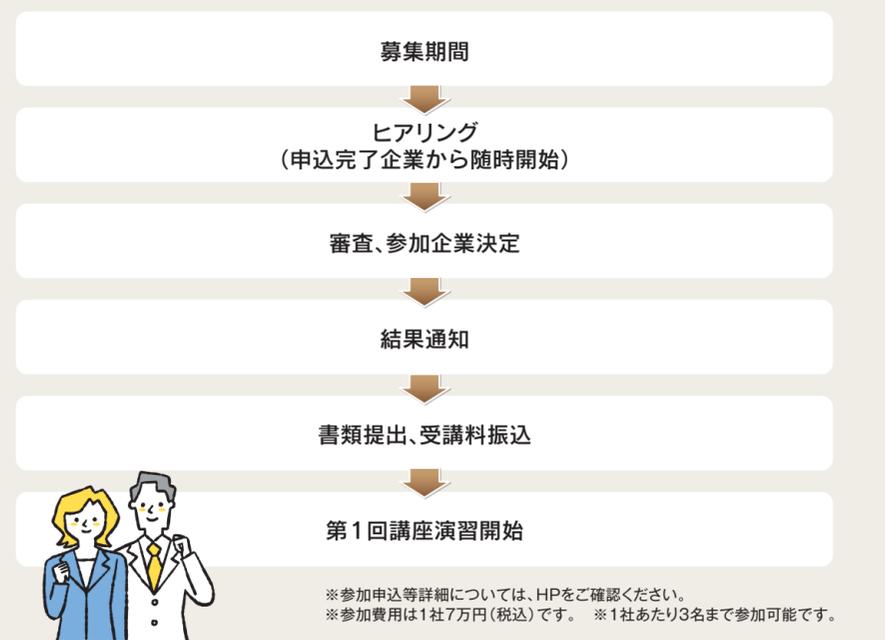
道場で得られたこと

社内で共通認識を持てるような可視化した資料づくりが学べた。ただし外部のサポートは十分でも、結局が肝になるのは自分たち自身なのだということ意識があってこそ新たな道は拓けると感じた。

手厚いサポート体制



売れる製品開発道場の募集スケジュール



お問合せ・お申込先

〒144-0035
東京都大田区南蒲田1-20-20
公益財団法人 東京都中小企業振興公社 城南支社
E-mail: dojyo@tokyo-kosha.or.jp
TEL: 03-3733-6284



新新 た製 な品 市場開 場を 発で 開拓

事業化チャレンジ道場

[ものづくりイノベーション企業創出道場]



- 製品開発の進め方がわからない
- 下請け体質から脱却したい
- 自社で価格をコントロールしたい
- 独自の強みを生かしたい
- 新規顧客を得たい



事業化チャレンジ道場とは？



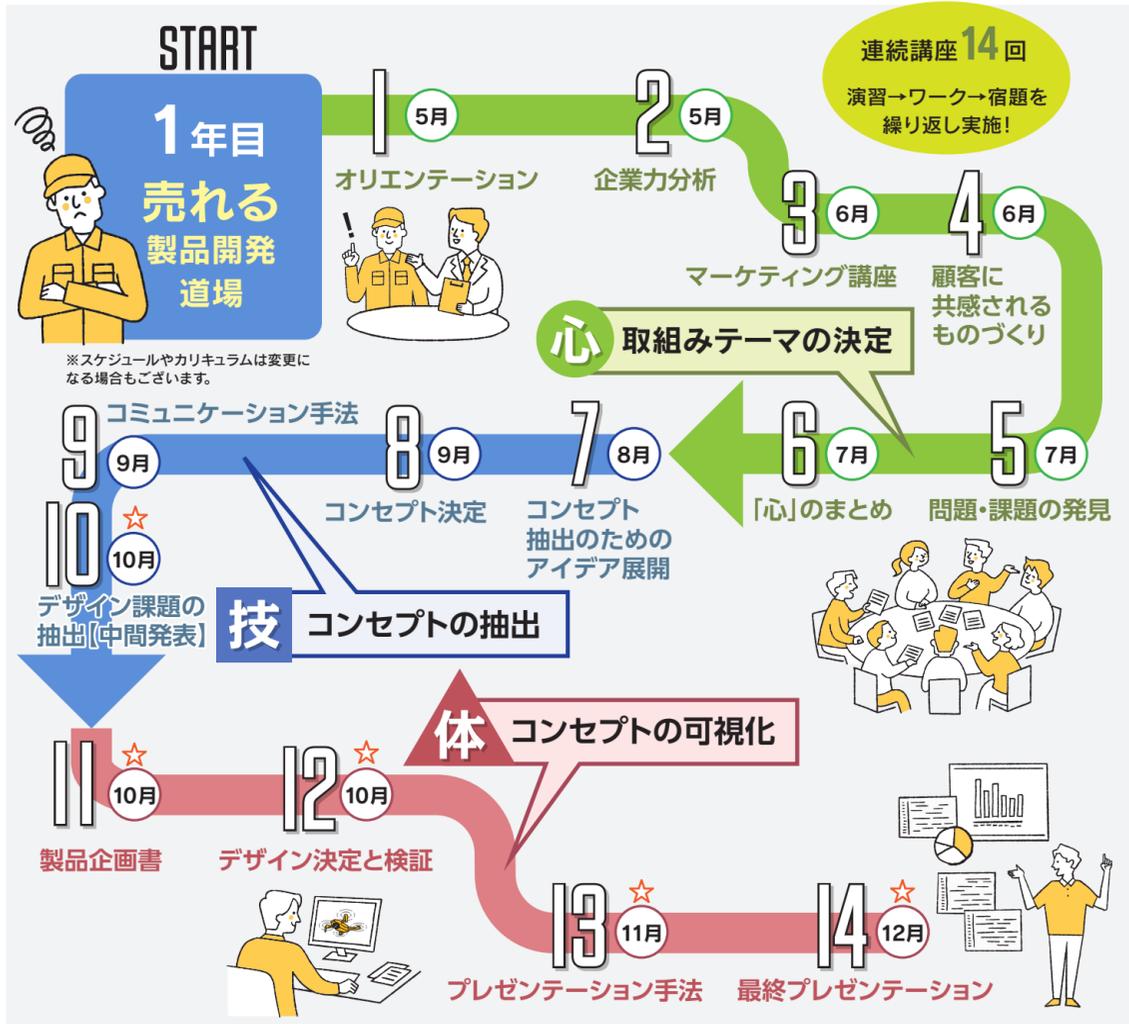
事業化チャレンジ道場はものづくりの新製品開発を通じて新規事業の立ち上げを目指す支援事業です。新製品の企画から販路開拓までのプロセスを「体系的」かつ「実践的」に習得し、新規市場への参入にチャレンジします。

事業化チャレンジ道場の特長

- ①ユーザー目線の開発**
 - 市場の動向やユーザーのニーズを分析、考察
 - 作り手目線ではなくユーザー目線での開発
- ②開発プロセスを実践的に習得**
 - 自ら考え、手を動かすことで開発プロセスを実践的に習得
- ③新規事業の創出**
 - 新製品開発を通じて、新たな自社ビジョンの実現に挑戦
 - 1つの製品を開発して終了ではない



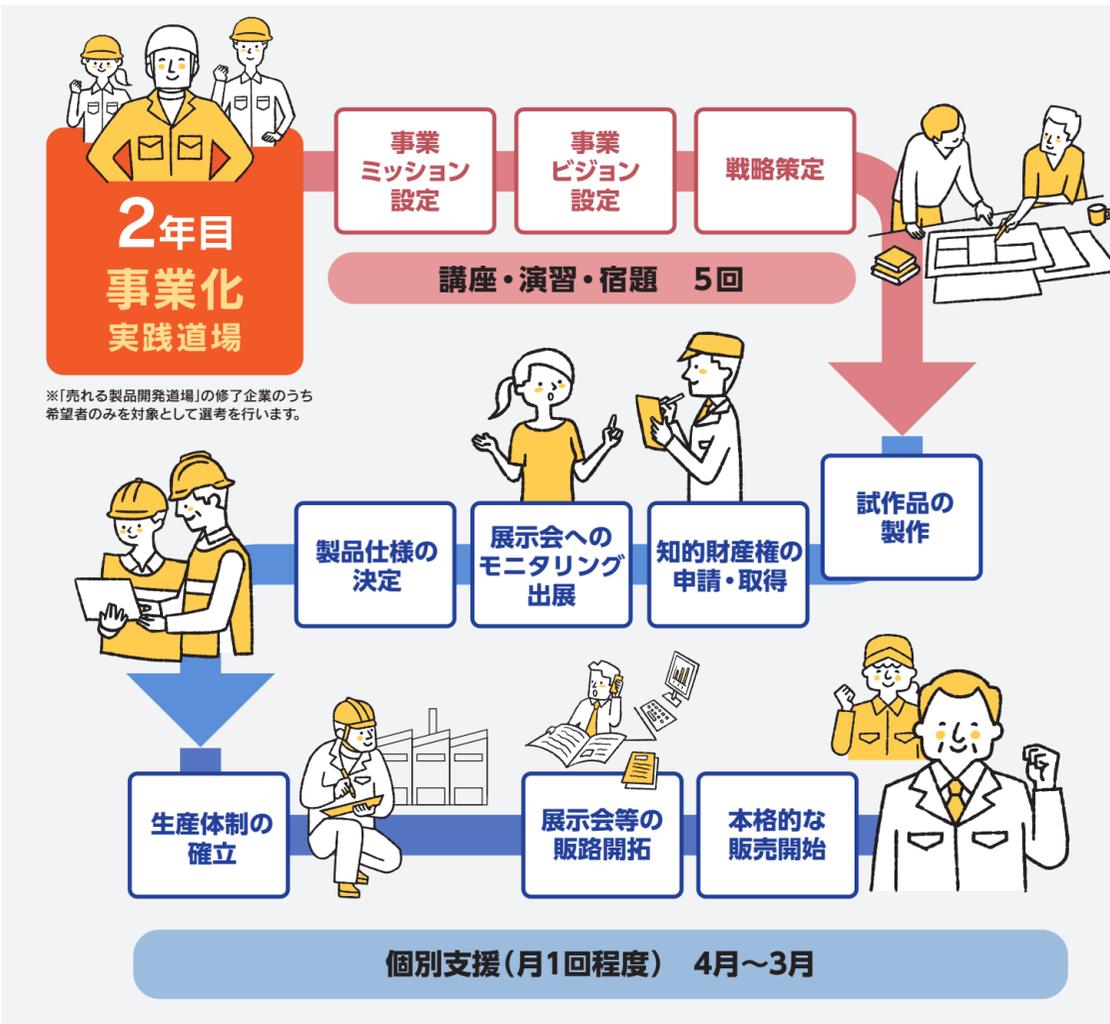
事業化チャレンジ道場の全体の流れ



- POINT**
- ①複数の講師による多様なアドバイスで多角的に学べる
 - ②個別支援で講師から進捗に応じたサポートが受けられる
 - ③ユーザー視点の製品開発スキルが身につく

★10-14は
デザイン・インストラクターによる
試作品製作のサポート(各社1名担当)

個別支援
(年4回)



- POINT**
- ①担当のマネージャー(中小企業診断士)による個別支援
 - ②開発製品の事業化を通して、新規事業の立ち上げプロセスを学べる
 - ③試作品製作から販路開拓までの流れがトータルで身につく

その他 経験者交流会 ●参加年次や業種を超えた交流の場

1年目・2年目共通 トータルサポート

進捗状況に応じた個別支援を実施。組織体制に課題がある企業には経営者へのサポートを実施。